

第三者評価結果の公表事項

①第三者評価機関名

一般社団法人 宮崎県社会福祉士会

②評価調査者研修修了番号

S25113, 2016-19
2017-3

③施設の情報

名称：わかば保育園	種別：保育所	
代表者氏名：鍋倉義孝	定員（利用人数）70名（86名）	
所在地：宮崎市田野町甲 5556-2		
TEL：(0985) 86-2001	ホームページ： http://www.kosodate-web.com/wakabaho/index.php	
【施設の概要】		
開設年月日：昭和 57 年 12 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人わかば福祉会		
職員数	常勤職員： 20 名 非常勤職員： 11 名	
有資格 職員数	（資格の名称） 名	
	社会福祉主事 1 名 小学校教諭 1 名	
	保育士 25 名 子育て支援員 1 名	
	調理師 2 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 4 ホール 1 調理室 1	自動火災報知機、AED、掲示板
	事務室 1	光務触媒、ガス給湯器、遊具倉庫他

④理念・基本方針

遊びの王様になろう

子どもは大人になるためのプロセスではありません 子どもは子どもとして生きているのです
のびのびあそんでこそ子どもです それでは子どもはなぜ遊ぶのでしょうか それはおもしろいから
遊ぶのです その遊びの中で、友達との葛藤を経験し また得意になって自信をつけ結果として、
思いやり・自主性・意欲が育っていきます 遊びに興味や関心を持ち、活動に没頭することによって
子ども自身が、今を生きながら発達していくのです。わかば保育園のみんなが、“遊びの王様”
なれたら とてもすばらしいことだと思います

⑤施設の特徴的な取組

晴れているときは、朝夕必ず外遊びをします。王様賞といって、鉄棒、雲梯、上り棒、フラフープ、竹馬、一輪車等に挑戦できる環境を作り、その子が挑戦したいと思った時期に挑戦できるようにしています。お友達がやっていることにあこがれて、自分もやってみたいという気持ちになり、挑戦してみる。最初は難しいと思っていても、お友達に教えてもらったり、練習して、工夫するうちに、段々とできるようになっていくことを知り、達成する喜びを知ります。達成したら、クラスメイトの前で賞状をもらって、誇らしい気持ちと達成感を味わいます。そしてまた、新たな目標を見つけたり、そのままその遊びを発展させながら継続して運動していきます。モンテッソーリ教育 毎月、職員を研修に派遣し保育の中に取り入れています。現在は、子ども達が主体的に活動できるようになるには、どうすればいいかということを考えながら保育に取り組んでいるところです。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 30年 11月 1日(契約日)～ 平成 31年 3月 31日(評価結果確定日)
前回の受審時期(評価結果確定年度)	平成 年度 0回

⑦総評

◇特に評価の高い点

1. 保育所保育指針が改訂され、保育園も新しい体制作りに向け、改革しようという現状に甘えず更なる高みを目指している点は評価できます。その改革へ職員とも十二分に話し合うことを期待します。また、今回自己評価されたことで園の抱えている課題にも気づきもあり、3歳以上児においては体操教室やスイミングまたアート制作への試みなども多様な保育を実践されている点は評価できます。
2. 「遊びの王様になろう」という理念のもとで、未満児さんから自分のやってみたい遊びが各種取り揃えられ「王様賞」をもらうことで達成感をもって取り組んでいることが高く評価できます。
3. 「叱らない保育」を目指して取り組まれていることが、子どもたちの表情やゆったりとした雰囲気から伝わり、保護者とのやり取りや、職員の仕事軽減の為にSNSを通して行うなど積極的にITを取り入れた取り組みがなされています。

◇改善を求められる点

1. 計画や書類は存在しますが、マニュアル化が未整備のため、今回の評価において明確になった課題を整理・検討し、職員との話し合いのうえ早急に取り組まれることを期待します。
2. 園庭は広く整備されており、外遊び等の環境が充実していますが、園内の事務室から未満児室までの間の環境が煩雑化しており、災害等があった際の避難誘導等に支障が無いように、子どもの安全への配慮をされるよう工夫が望まれます。
3. 個別に相談できる環境の整備(相談しているのを見られない配慮等)を期待します。また、SNSを使用することへのリスクマネジメントも望みます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

評価結果としては、自園の強み、改善すべき点がはっきりとして、やるべきことが明確になったと思う。第三者評価を受けるに当たり、第三者に客観的に施設の内容を見ていただく機会があるということで、職員自身の振り返りがあり、さらに、それぞれの職員が自己評価をしていくことで、日頃の仕事内容等を細かく見返す良い機会となった。結果も大事ではあると思うが、第三者評価の訪問を受けるまでの過程の中で、職員同士が多くコミュニケーションをとることやひとりひとりが問題意識を持つなど、様々な良い効果をもたらしたように思われる。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

評価結果表（保育）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

1	I-1-(1)-①	評価
理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		b
評価コメント	明文化されているものの、IP上の表記と資料で提出された30年度事業計画において一部表記が違うなどが見られます。また今後の保育園運営において変革しようとしていますので誰が見ても分かるように表記されることを望みます。	

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

2	I-2-(1)-①	評価
事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		a
評価コメント	宮崎市保育会に加入し毎月の定例会に出席したり、県青年部にも属し、県外の情報を収集したりしながら取り組まれています。地域の子どもの動向や福祉の動向などにも情報収集など積極的に取り組まれています。	

3	I-2-(1)-②	評価
経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		b
評価コメント	年度途中で利用児が増えることを見越して、4月から職員を多く採用し、0, 1, 2歳児が増えても対応できるように職員の配置を工夫されています。今後はより具体的な取り組みとして職員を交えた検討の場を向けるなどの努力を期待します。	

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

4	I-3-(1)-①	評価
中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		C
評価コメント	中・長期計画においては明文化されていませんでした。理想や基本方針の実現に向けた目標を明確にし、目標に対しての、課題や問題点を明らかにし、解決のための具体的な長期計画を策定することを望みます。	

5	I-3-(1)-②	評価
中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		C
評価コメント	単年度計画は昨年度と同等となっており、中・長期計画を踏まえたものにはなっていませんので、早急に改善を望みます。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

6	I-3-(2)-①	評価
事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		b
評価コメント	事業計画においては職員会議において話し合われ、実施に至っています。	

7	I-3-(2)-②	評価
事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		a
評価コメント	事業計画は3月に配布し、4月の新年度初の行事の際に保護者に施設長から説明を行うとともに、アプリを利用してお知らせなどを配信することで、保護者の参加を促す観点から工夫されています。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

8	I-4-(1)-①	評価
保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		b
評価コメント	第三者評価を今回実施され、自己評価をされたことで意識が大きく変わりました。保育の質の向上に向けた個々の保育士が行う自己評価を毎年実施されていますので、今回の評価と合わせて今後の質の改善によりよく取り組まれることに期待します。	

9	I-4-(1)-②	評価
評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		c
評価コメント	今回の評価を機に多くの気づきをされています。この気づきをもとに改善の課題を明確にし、改善のための取り組みを必要に応じて、中・長期計画の中で段階的に解決へ向けて取り組まれることを望みます。	

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。

10	II-1-(1)-①	評価
施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		b
評価コメント	保育園の今後の方向性など、改革したいとの思いを持っておりそれに向けて準備もされています。その際に、しっかりと自らの役割と責任において理解を図ることと文書化していくことを進めます。	

11	Ⅱ-1-(1)-②	評価
遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		b
評価コメント	全国大会や保育会の定例会等にも参加し、国の流れや制度の改革等への情報の収集を行いつつ、法令等を理解するための取組を行っています。	

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

12	Ⅱ-1-(2)-①	評価
保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		b
評価コメント	現在行事の在り方を変えようと取り組まれている最中であり、見せるための行事から普段の保育の中から子ども達が楽しんで頑張っていることを見てもらう行事に変えていこうとされています。これからの指導力によりどう変わるかとても楽しみです。	

13	Ⅱ-1-(2)-②	評価
経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		b
評価コメント	アプリを利用して日々の記録の軽減化を図ったり、保育士が記録をする時間にフリーの職員を配置する等業務の実行性を高める取組を積極的に取り組まれていることは評価できます。	

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	Ⅱ-2-(1)-①	評価
必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		a
評価コメント	障がい児への加配やフリーの職員の配置及び、英語や体操など専門の職員を確保されています。人材確保に実習生を受け入れたり、福祉就職フェアに参加されるなど積極的な取組をされています。	

15	Ⅱ-2-(1)-②	評価
総合的な人事管理が行われている。		b
評価コメント	職務分担表はあるものの「期待する職員像等」の明文化されたものはありませんでしたが、施設長、主任保育士のもと一元的に行われています。近く保育の方法を変えるのに合わせて、整備されることを望みます。	

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	Ⅱ-2-(2)-①	評価
職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		a
評価コメント	日・祭日も開所している為、変形労働制であるが、職員の希望をとり入れて希望休を入れたシフトを組んだり、事務処理の為の時間確保がなされ自宅に仕事を持ち帰らせない工夫がなされています。	

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	Ⅱ-2-(3)-①	評価
職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		b
評価コメント	保育士の自己評価を実施されており、それに基づく前期・後期の振り返りがなされています。今後はその評価をもとに個別面談を実施するなどの取り組みを期待します。	

18	Ⅱ-2-(3)-②	評価
職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		c
評価コメント	モンテッソーリ教育を取り入れた保育を行っていますが、なぜ、モンテッソーリ教育を取り入れるのか等を踏まえた基本方針や計画の策定がなされていないので、早急に改善を期待します。	

19	Ⅱ-2-(3)-③	評価
職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		b
評価コメント	県内外の研修や専門性の研修等への参加がなされています。常勤職員が受けることが多いようですので、さらに非常勤職員や系統だてて研修が受けられるようになるとさらに個々の職員の質の向上につながっていくと思われます。	

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20	Ⅱ-2-(4)-①	評価
実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		c
評価コメント	実習生の受け入れの際のマニュアルや育成に関する基本姿勢などが示されていませんので早急に整備されることを期待します。学校側との連携は密に行っています。	

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

21	II-3-(1)-①	評価
運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		b
評価コメント	HP上での情報公開がされていますが事業計画や予算、決算上などがアップされておらず内容に不十分さが見られます。ワムネットへ載せている情報もありますが一元的にみられるよう整備を期待します。	

22	II-3-(1)-②	評価
公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		b
評価コメント	経理を外部に委託したり、監事に元銀行員の方をお願いしたりしながら取り組まれています。今後は、より透明性の高い適正な経営・運営の為には外部監査の活用を望みます。	

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

23	II-4-(1)-①	評価
子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		b
評価コメント	のどかな田園に囲まれた地域であり、地元の農家さんと触れ合う機会が多く持たれています。餅つきに地域の方に来ていただいたり、老人施設での交流や地域のお祭りに参加する等の取り組みをされています。	

24	II-4-(1)-②	評価
ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		c
評価コメント	ボランティアの受け入れも行われていますが、受け入れの際の基本姿勢を明文化されたものがないため、早急に改善を希望します。	

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25	II-4-(2)-①	評価
保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		b
評価コメント	障がい児保育においては専門機関と連携し、PTの訓練に保育士も同行し、保育に役立つなどの関係機関との連携が適切に行われています。	

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	Ⅱ-4-(3)-①	評価
保育所が有する機能を地域に還元している。		b
評価コメント	太鼓フェスティバルに参加して、地域との交流が図られています。これからも地域に還元する取り組みを進めることを期待します。	

27	Ⅱ-4-(3)-②	評価
地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。		b
評価コメント	福祉ニーズの把握に努めて学童保育を実施されています。一時保育等は現在行っていませんが、今後は福祉の動向と地域のニーズにもとづいた活動を望みます。	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

28	Ⅲ-1-(1)-①	評価
子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。		b
評価コメント	「遊びの王様になろう」を理念として掲げており、障がいの有無に関わらず子ども主体の保育を大切にしながら取り組まれています。	

29	Ⅲ-1-(1)-②	評価
子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。		b
評価コメント	子どものプライバシー保護の観点から個人情報保護の誓約書等整備されていますが、アプリを利用して保護者への発信等もあり細心の注意が必要と思われます。IT関連の権利擁護対策も今後進めていかれることを期待します。	

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

30	Ⅲ-1-(2)-①	評価
利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。		a
評価コメント	丁寧に取り組まれています。「遊びの王様になろう」のスローガンは多くの方々に分かりやすく、とてもインパクトに残ります。これからも保護者にとって分かりやすい工夫を続けていってください。	

31	Ⅲ-1-(2)-②	評価
保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。		a
評価コメント	重要事項説明書に基づく説明が行われており、アンケート上でも説明されたことの確認が取れています。	

32	Ⅲ-1-(2)-③	評価
保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		a
評価コメント	保育所等の変更への情報共有が行われており、保育園を卒園した子ども達へは学童保育でのかかわりが継続できるようにしたり、保護者からも相談を受け付けられるように主任保育士が主力となって取り組まれています。	

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

33	Ⅲ-1-(3)-①	評価
利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		b
評価コメント	毎月茶話会を開催し、保護者が普段の保育を見学し、担任と話ができる環境が整えられています。また、年1回保護者面談も実施し、家庭の状況の把握に努めています。アンケートからも利用満足度の高さが読み取れます。	

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34	Ⅲ-1-(4)-①	評価
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		b
評価コメント	苦情解決の仕組みが確立しており、HP上では苦情申し立てがないとのことで解決内容及び解決結果等の公表がなされていませんでしたが、苦情を申出やすい配慮や苦情の捉え方も再度検討していただけることを望みます。	

35	Ⅲ-1-(4)-②	評価
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		b
評価コメント	各室の保育室が出入り口と連動しているため、朝夕の園児受け渡し時には担当保育士と話がしやすい環境ではありますが、相談するには周りから見られない環境整備も必要であり、改善を期待します。	

36	Ⅲ-1-(4)-③	評価
保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		a
評価コメント	担任から報告があげられる仕組みが出来ており、主任保育士や園長への報告がなされています。早急に対応すべき時には個々に連携を図りながら行われています。	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37	Ⅲ-1-(5)-①	評価
安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		C
評価コメント	職員への情報漏えいに配慮されている点は評価できます。しかしSNSを駆使した情報発信が積極的に行われていることを鑑みて、SNSへのリスクマネジメント対策が不十分ですので早急に対応を望みます。	

38	Ⅲ-1-(5)-②	評価
感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		b
評価コメント	嘔吐物処理感染対応マニュアル等の整備がなされ、感染症発生に関してもアプリや掲示板を利用して情報発信がなされていますが、アンケートにより感染症対策に対してゆるく、もっと早くに情報提供欲しいとの声もありました。	

39	Ⅲ-1-(5)-③	評価
災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		b
評価コメント	毎月の避難訓練を実施されており、水と非常食（おやつ等）が準備されています。大規模災害等を考慮した近隣の施設や消防署との協働での訓練等も今後視野に入れていってほしいと思います。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

40	Ⅲ-2-(1)-①	評価
保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。		b
評価コメント	保育所保育指針や理念に基づいて、年間指導計画、月案・週案が作成されています。実施方法では、アンケートの結果から一部の職員の挨拶等不適切な対応がみられるため、職員に周知徹底するための文書化の整備を望みます。	

41	Ⅲ-2-(1)-②	評価
標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		b
評価コメント	職員会議録により確認するもPDCAサイクルによる見直しは試行中の為、今後を期待します。	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42	Ⅲ-2-(2)-①	評価
アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。		b
評価コメント	アセスメントについては、保護者より口頭で聞き取り、児童票に記載されています。また個別の経過記録では、保育実践の振り返りが各年齢毎のケースに応じて保護者の意向に沿って取り組まれています。	

43	Ⅲ-2-(2)-②	評価
定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。		b
評価コメント	評価見直しは、適宜口頭で実施し、キッズノート（アプリ）で変更、確認が行われています。保護者の意向把握は、個別に口頭や連絡帳で対応されています。アプリでの変更を文書に記録し、次の計画時に反映されるよう望みます。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44	Ⅲ-2-(3)-①	評価
子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。		b
評価コメント	児童票や個別指導計画、キッズノートを確認。職員間でキッズノートを利用して、情報の共有と既読のチェックもされていますが、クラスによって記録に差異が生じないような工夫が望まれます。	

45	Ⅲ-2-(3)-②	評価
子どもに関する記録の管理体制が確立している。		b
評価コメント	個人情報保護誓約書に職員は署名されていますが、情報保護意識の観点から規程書等での内部研修の実施を望みます。情報開示の請求については、保護者から話を聞き顔を見て会話するように対応されています。	

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成

46	A-1-(1)-①	評価
保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。		b
評価コメント	「遊びの王様になろう」の理念で園庭には見立て遊びができるスペースも設置されており、指針改訂により、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識して保育課程が編成されています。共通理解のためにも担任以外の職員も参画されることが望まれます。	

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

47	A-1-(2)-①	評価
生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。		b
評価コメント	室内は、明るく温度等調整が行われています。4, 5歳児の保育室は、ローテーションで使用されているとのことですが、多種多様な環境の中で工夫して取り組まれています。	

48	A-1-(2)-②	評価
一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。		b
評価コメント	「叱らない保育」を実施していく中で「どうすればやりたいことをやろうと思うか」という視点で見直され、子どもを褒めて伸ばしていくよう保育士が保護者にも促すような対応がされています。	

49	A-1-(2)-③	評価
子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。		b
評価コメント	基本的な生活習慣については、子どもたちの自立に向けて保育士が見守る環境にありますが、自己評価の特記にある通り保育士が強制することのないような自立援助を望みます。	

50	A-1-(2)-④	評価
子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。		b
評価コメント	子どもが主体的に遊べるプロセスを大切にして、今までの保育設定よりは選択肢を多く取り入れており、自発性を促すよう工夫されています。	

51	A-1-(2)-⑤	評価
乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	連絡帳を通じて、保育士が一人ひとりの子どもについてよく観察記録し保護者との情報も共有できています。月齢により、成長発達が変化する時期なので職員間の連携と保育内容に共通理解をもった対応が望まれます。	

52	A-1-(2)-⑥	評価
3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	異年齢児との交流も取り入れ、3歳未満児にも「王様賞」の遊びの設定がされ意欲的に取り組まれています。外遊び等行動範囲も広く活動的になりますので、子どもの位置や動きを確認し事故防止に努められることを望みます。	

53	A-1-(2)-⑦	評価
3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	3歳以上児の保育は、体操、スイミング、英語教室にも力を入れ、保育内容について保育士は、意識して一人ひとりに声かけし、子どもたち同士で話し合える活動を促しています。	

54	A-1-(2)-⑧	評価
障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	障害に応じた環境が整備されています。自分でできることを意欲的に取り組めるようあたたかい雰囲気を受け入れられています。	

55	A-1-(2)-⑨	評価
長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	設定保育以外の時間でも、保育士3名で見守り、保護者への引継ぎも漏れなく行われていますが、指導計画の中にも、異年齢児クラスの過ごし方について位置づけされることが望まれます。	

56	A-1-(2)-⑩	評価
小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。		a
評価コメント	保育所児童保育要録の作成以外に、子どもの保育所での生活の引継ぎ資料も作成され小学校との連携が図られています。	

A-1-(3) 健康管理

57	A-1-(3)-①	評価
子どもの健康管理を適切に行っている。		b
評価コメント	保健計画のマニュアル化は未整備のようですが、各チェック表やSIDSに関する視診は、5分おきにキッズノートに管理されています。SIDSに関する保護者への情報提供は、入園時に入園のしおりに記載、説明されています。	

58	A-1-(3)-②	評価
健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		a
評価コメント	健康診断や歯科検診の結果は、保護者に口頭やキッズノートを利用して伝えられています。食後の歯磨き習慣はついていますが、さらに正しく丁寧に磨くことができるよう工夫をお願いします。	

59	A-1-(3)-③	評価
アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		b
評価コメント	アレルギーのある子どもの個別ファイルはありますが、マニュアル化については、ガイドライン等を活用されるよう望みます。医師の指示書で、除去食品確認表も作成され、代替え食で対応されています。	

A-1-(4) 食事

60	A-1-(4)-①	評価
食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		a
評価コメント	食育についても計画され、食前にお当番さんが献立を伝えるなど楽しんで食べる雰囲気作りの工夫がされています。保護者にも給食サンプルをキッズノートで知らせ、いつでも確認できるようにされています。	

61	A-1-(4)-②	評価
子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。		a
評価コメント	子どものご飯は各家庭から食べる量を持参し、園で提供されるおかずやスープは、子どもの食べる量が把握され盛り付けられており、残食はなく、会話を楽しみながら食事をしている様子が印象的です。	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

62	A-2-(1)-①	評価
子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。		a
評価コメント	毎月の茶話会など保護者と直接関わる機会が設けられています。茶話会不参加の場合は、保護者の希望により、個別に子どもの様子を見る時間が設けられています。	

A-2-(2) 保護者等の支援

63	A-2-(2)-①	評価
保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。		a
評価コメント	保護者との日々のコミュニケーションは、積極的に行われており、相談や意見等は、キッズノートを使い職員にも周知されています。	

64	A-2-(2)-②	評価
家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		b
評価コメント	虐待等権利侵害については、市の子育て支援課と連携し、書類や写真等で保管されていますが、マニュアルの整備と職員研修の実施については、今後の取り組みに期待します。	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

65	A-3-(1)-①	評価
保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		b
評価コメント	3ヶ月に一度の自己評価の記録から、保育士自らの保育を捉え、振り返りが行われています。今後も、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿に照らし合わせて、子ども主体の保育が進められるよう園全体で話し合う体制作りを望みます。	